

【目次】

1. 広島友愛同盟・三原地区同盟の役員研修会の皆様が同盟運動の歴史を学び、友愛労働歴史館を見学。
2. 2022 年度 一般財団法人日本労働会館 第1回理事会を開催。
3. (一財)日本労働会館 理事 友愛労働歴史館館長 徳田孝蔵 氏が勇退。
後任は、藤吉大輔 友愛労働歴史館事務局長の予定。
4. 大阪にて開催予定。:2022 年 7 月 21 日(木)~22 日(金)
「蠶を持つ男・西尾末廣ー労働運動・政治運動に生きた生涯ー」

1. 広島友愛同盟・三原地区同盟の役員研修会の皆様が来館。

広島友愛同盟・三原地区同盟（議長:橋詰 文貴 氏）10名が5月20日(金)、友愛労働歴史館を見学。見学前に友愛会の創立から、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を視聴し、熱心に資料館を見学しました。中でも、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性和今後の方向性」などに関心と興味を引いた様子でした。

2. 2022 年度 一般財団法人日本労働会館 第1回理事会を開催

2022 年度 第1回理事会が5月24日(火)友愛会館にて開催されました。冒頭、宮本礼一代表理事から、「許し難いロシアのウクライナ侵攻は、即時停止を求めるものである。世界的なロシアに対する経済制裁について、当然の対応である。しかし、その制裁がブーメランのように国内の産業・企業、さらに国民の生活にまで悪影響として及んでいる。また、3年に及ぶ新型コロナウィルス・パンデミックによって、一般社団法人日本労働会館は事業運営の大転換に迫られている。財団財政の柱となるはずだった宿泊事業収入の激減により、財団存続の見通しが立たなくなってきた。宿泊事業は、この4月からローズステイ東京芝公園として再出発したが、いまだコロナ前の状況回復に至っていない。また、人とのつながり、コミュニケーションに頼ってきた公益事業運営も人を集めるイベントや講演会、展示会の開催が出来なくなった。現在、不動産の一部売却により運営資金を確保、宿泊事業を委託することによって収益見通しの安定化をめざしている。これら財政基盤の健全化努力と同時に、公益事業運営を財政、人材、設備等、その他色々合わせて改革していく必要に迫られている。具体的には、公益事業のあり方検討委員会の設置となる態勢と枠組みを提案し、その委員会の中で貴重な資料・財産を散失させないために、法律、財務体制、税制など幅広い角度で検討していく。」と発言がありました。なお、議案はすべて採択されました。

第1号議案 2021 年度 事業報告承認の件

第2号議案 2021 年度 決算報告承認の件

第3号議案 2022 年度 常勤役員に対する報酬(案)承認の件

第4号議案 理事の選任(案)承認の件

第5号議案 役員退職慰労金支給承認の件

第6号議案 公益事業のあり方検討委員会の運営に関する件

3.(一財)日本労働会館 理事 友愛労働歴史館 館長 徳田孝蔵 氏が勇退。

2022年度 第1回理事会が5月24日(火)友愛会館にて開催の第4号議案「理事の選任(案)承認の件」で(一財)日本労働会館 理事 友愛労働歴史館館長 徳田孝蔵 氏が退任することが決まった。10年に及ぶ友愛労働歴史館の新装オープン以来の多大なる功績に感謝するものである。なお後任は、現友愛労働歴史館の藤吉大輔事務局長の予定。

4.出張展示会予告、大阪にて開催予定。(日程変更後)。

「蠶を持つ男・西尾末廣ー労働運動・政治運動に生きた生涯ー」

日程:2022年7月21日(木)~22日(金)<あくまで予定>

場所:JAM 西日本会館 時間:10:00~16:00



「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行:友愛労働歴史館

責任者:徳田 孝蔵

担当者:藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuairodokishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairodokishikan.com>

惟一館から128年、友愛会から110年